

短歌二首

二三一番

高^{たか}円^まの 野^の辺^への 秋^あ萩^{きはぎ} いたづらに 咲^さきか散^ちるら
む 見^みる人^{ひと}なしに

二三二番

三^み笠^{かさ}山^{やま} 野^の辺^へ行^ゆく道^{みち}は こきだくも しげく荒^あれ
たるか 久^{ひさ}にあらなくに

或^{ある}本^{ほん}の歌^{うた}に曰^{いは}く

二三三番

高^{たか}円^まの 野^の辺^への 秋^あ萩^{きはぎ} な散^ちりそね 君^{きみ}が形^{かた}見^みに
見^みつづ 俣^{しぬ}はむ

二三四番

三^み笠^{かさ}山^{やま} 野^の辺^へ行^ゆく道^{みち} こきだくも 荒^あれにける
かも 久^{ひさ}にあらなくに